

通常診療再開いたしました。

この度、当院における新型コロナウイルス感染症陽性患者が確認されました件に際しまして、当院をご利用の患者様並びにそのご家族様、当院に出入りされる各種業者の皆様、そして当院の職員やそのご家族の皆様方、当院にかかわるすべての皆様に、大きな影響があったことを心よりお詫び申し上げます。

当院は、糸島地域での急性期医療に積極的に取り組んでおり、感染症対策には細心の注意を払い診療を行っておりました。その中で、肺炎ではない急性期疾患で入院中の患者様が、突然、新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者であると判明し保健所よりPCR検査の要請をうけ、結果陽性が確認されました。幸い院内での濃厚接触者もなく、万全を期すために行った職員のPCR検査も全員陰性の結果でした。感染のリスクは限りなく低いとされた事例ではありましたが、念には念を入れ新規入院の受け入れを停止し、外来は可能な限り電話再診での対応を14日間行ってきました。

診療再開に向けて、かかりつけ患者様の電話再診等の対応や、入院患者様のケア、感染対策をさらに強化し準備してきました。その間、当院においても誹謗中傷といえるようなお電話が掛かってきたり、職員のご家族の仕事や保育園の利用にも影響が出るなど病院全体が感染者であるような扱いを受けました。SNSでも根拠のないデマが流れ心身ともにぎりぎりの状態で仕事をしている職員の心が傷つくことがたまらなく耐えられませんでした。そのような中で誰一人欠けることなく医療従事者としての使命を全うしてくれた全職員に対し敬意を払うとともに誇りに思っています。

また、このような中わざわざ貴重なマスクを届けてくださった方、「頑張ってください」と励ましの言葉かけてくださる方、多数の心温まる励ましを頂戴し職員の心の支えとなっただきました方々に心より感謝申し上げます。

4月16日より入院、外来とも感染対策を強化し通常診療を再開いたしました。

3密（密閉・密集・密接）が同時に重なることを避けるために、引き続き電話再診による処方箋発行を推進し、検査等が必要な患者様が安心してご来院いただけるよう努めます。またご入館いただくすべての方に検温や手指消毒、感染チェックを行い引き続き感染防御に努めてまいります。

全国の医療機関や介護施設等のクラスター発生が次々に起こっている中、医療・介護に従事するスタッフは自らが感染していないか、誰かを感染させないか、といった恐怖を抱えながら命がけで戦っています。今回の事を経験した一人の医師として、今現在も院内感染や職員の感染、クラスター発生後の対応に直面されている方々や、最前線で新型コロナウイルス感染症の治療にあたられている医療機関の皆様には敬意を表します。発熱者がたらいまわしになっている状況下、かかりつけ医療機関がすべく役割を果たすことで、感染症受入医療機関がその機能を全うできることに繋がると強く感じます。先駆けて、『コロナ発生』に心の準備と職員の訓練が出来たと捉え、今後のさらなる地域医療に貢献して参ります。みんなが感染に対して何が正しく、何が嘘かを見極める目を持ち、「正しく恐れる」気持ちで、見えない敵『コロナウイルス』との戦いに必ず打ち勝ちましょう。

冒頭の患者さまが健康を取り戻され穏やかな日常生活を過ごされることを祈念いたします。

2020年4月16日

誠心会 井上病院 院長 井上健